

高温が予想されています。飽水管理を徹底願います!!

- 葉色は指標値より濃いですが、一部淡いほ場が見られます。
葉色が淡いほ場は、追加穂肥を施用しましょう。
- 8月は、高温が予想されています。
飽水管理を徹底し、稲体の活力維持に努めましょう。
- ほ場ごとに出穂期を把握し、早めに収穫作業計画を立てましょう。

1 コシヒカリ生育概況（7月30日調査）

草丈…	99	cm	（指標比	116	%、	長い	）
茎数…	404	本/m ²	（同上	109	%、	やや多い	）
葉色…	36.1	（葉緑素計）	（指標差 +	2.6	、	濃い	）
葉数…	12.9	葉	（同上 +	0.1	葉、	並	）

※ 穂肥を施用したほ場では、葉色が持ち直し、指標値より濃くなっていますが、指標より淡いほ場もあります。

2 気象予報（新潟地方気象台7/30発表 北陸地方1か月予報）

- 向こう1か月の気温は高いでしょう。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
※ 「新潟県の天気予報（7日先まで）」によると、8月1日から最高気温は31～36℃と高温が予想されています。
- 向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いでしょう。

3 当面の対策

（1）コシヒカリの後期栄養確保

- 後期栄養確保のため、穂肥を施用していないほ場や施用しても葉色が淡いほ場は、早急に追肥しましょう。
※ 窒素施用量の目安：10a当たり 1～2 kg

表 コシヒカリの追加穂肥（または3回目穂肥）のめやす

区分	判断時期・葉色（SPAD値） のめやす	追肥時期	施用量 窒素成分 （kg/10a）
全量基肥 （化学肥料）	出穂期のSPAD値が 34を下回ると予想されるほ場	走り穂が見える頃 まで	1～2
分施肥体系 （化学肥料）	出穂期3日前でSPAD値 31～33以下のほ場	出穂期3日前	

※ 特別栽培農産物等の場合は、所属する団体等の方針や指導に従って対応しましょう。

(2) 水管理

ア 地域の用水管理

- 地域で用水の利用について話し合い、公平に水がかけられるようにしましょう。
- 飽水管理を徹底し、完全落水は、出穂期25日後以降としましょう。

イ 台風（フェーン）対策

- 出穂期から出穂7日後までは、最も風害（フェーンやダシ風）の影響が大きい時期です。この時期の被害は、止葉の損傷、白穂の発生、籾の汚損などの症状となって現れます。
- 強風やフェーン、異常高温が予想される場合は、事前に湛水するなど早めに対応しましょう

(3) 病害虫対策

ア 斑点米カメムシ類（7月29日 注意報発令）

- 高温年次は、斑点米カメムシ類の被害が懸念されます。①農道畦畔の継続的な草刈り、②液剤や粒剤など、剤型に応じた適期防除を行いましょう。

↓ 令和8年度病害虫発生予察情報・注意報第2号

<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/505675.pdf>

イ いもち病

- いもち病に弱い「新之助」「わたぼうし」は、ほ場を確認し、病斑を発見したら直ちに薬剤防除を行いましょう。

ウ 紋枯病

- 今年のような高温年は、紋枯病が発生しやすくなります。
- 前年多発生したほ場や茎数過剰なほ場を中心にほ場を観察し、発病株が多い場合は薬剤防除を行いましょう。

(4) 収穫対策

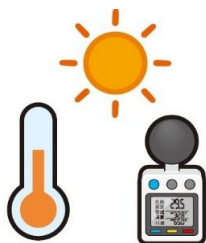
- 今年は出穂期が平年比4日程度早く、また、向こう1か月の気温は高いと予報されており（新潟地方気象台7月30日発表）、収穫期は早まると予想されます。刈取りの準備を進めて、刈遅れによる品質低下を防止しましょう。

↓ 新発田農業普及指導センターHP【水稻適期収穫の部屋】

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/shibata-nogyo/suitougizyutukeiei-tekikisyuukaku.html>

(5) 熱中症対策

- 農作業時には、こまめな水分・塩分補給や適切な休憩を心掛け、熱中症の予防に努めましょう。



温度やWBGT値を見て作業を考えよう

- 暑さに応じて、作業内容を調整
- 重い作業は、朝夕の時間帯にずらす、または休憩や給水の回数を増やす



こまめに休憩を取ろう

- 20分おきを目安に休憩
- 休憩時には水分・塩分補給を（コーヒー・緑茶はさけ、水・スポーツ飲料など）
- 日陰や冷房のある場所で体を冷やす



もしもの時の応急処置

- 異常を感じたらすぐ作業を中断し、涼しい場所で衣服を緩めて身体を冷やす
- 意識がもうろうとしている・返答がおかしい場合は、直ちに119（または#7119）を

熱中症対策の
3つのポイント